発想力を鍛え実務で活用するための

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

LIVE配信
アーカイブ配信

7日間何度でも
視聴可能

開発者・技術者のための 技術の発想と実現（実習付）

~発想手順とヒントを数多く提供する実務向きの講座~

◆日　時：2025年5月23日（金）10:00～16:00
◆会　場：WEB受講のみ（Zoomシステム）
ライブ配信/アーカイブ配信（7日間、何度でも視聴可）
※当日の出席・欠席の有無は問いません

◆受講料：（消費税等込）　1名：49,500円
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合　1名：44,000円
◆受講資料：製本テキスト（受講料に含）
※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

発想力を高めるための具体的方法、発想するための手順、アイデアにつなげるヒントの使い方、実務に利用するための推進法について、豊富な経験に基づき、事例を交え、実務で活用できるように解説する特別セミナー！！

【講師の言葉】

新しい発想で切り開く時代です。AIやIoTなどに伴う激しい変化にあって、課題を解決するだけでなく、問題を発見する力が必要です。アイデアを創出する力は、訓練によって向上します。そこで、技術者が自ら発想し設計・開発・推進の仕事に活かしてきた経験を基に、発想とそれを実務に利用する流れと方法を示します。

まず、創造のための流れを学びます。次に発想のツールであるマンダラートやマインドマップといった先人の発想法と、ロジカルシンキングを概説します。連想を促すTRIZやオズボーンのリストには、それを利用した多くの例を挙げます。さらに動詞、形容詞連想法など、学会発表した演者独自の新しい発想・連想法を提示します。開発・設計の技術にとって多くのヒントを元にする実用的な発想法として、実例を豊富に挙げて説明します。

実習では、アイデアを絞り出す感覚をつかみます。その発想から実現可能なものに絞り込んでとりまとめ、実現へと進む流れを示します。日本創造学会の成果にも言及します。

テキストは分かりやすい文章の読み物で、受講後にも引き続き復習と自主的な実習、そして実際の発想に役立つ考え方を勉強できます。また発想に役立つ考え方と発想のヒントを資料として提供します。ChatGPTなど生成AIの利用についても言及します。

【受講形式】WEB受講のみ ※本セミナーは、Zoomシステムを利用したオンライン配信となります。
【受講対象】技術開発、設計技術に携わる技術者全般（初任者も可）
【予備知識】特に必要ありません
【習得知識】1）発想力を高めるための方法　2）発想するための手順　3）アイデアにつなげるヒントの使い方
4）実務に利用するための推進法　5）生成AIの効果的利用　など
【受講者の声】・アイデアの発想からその実現に向けての各過程で役立つ方法が網羅的に教授され、有意義だった。
・分かりやすい内容でした。発想法に関してはネットでも基本的な部分は調べれる為、演習問題の割合が多くなれば、もっと有効度が上がると感じました。
・製品コンセプトを検討していくうえで実際に活用に役立つ手法を学ぶことができた

◆プログラム◆

【講師】　フルード工業株式会社　執行役員　研究開発室長　小波　盛佳 先生
鹿児島大学非常勤講師、日本創造学会研究倫理委員長、工学博士、技術士（機械部門）

第1章 発想から実現へ
1. 発想が必要な技術活動
2. 新しいアイデアを生む守破離の流れ
3. 課題発見・解決と発想
4. 発想から実現への流れ
5. 創造性と訓練

第2章 発想の方法
1. 発想の基本
2. アナロジーは発想の宝庫
3. 発想法の分類
4. NM法
5. ヤング法「アイデアの作り方」
6. マンダラート
7. マインドマップ
8. シーズとニーズからの発想
9. 逐一反問法

第3章 発想のヒント
1. TRIZの発明原理
2. オズボーンのチェックリスト
3. 小波の追加リスト
4. 単位洗い出し法
5. ヒント連想の考え方
6. 動詞連想法
7. 形容詞連想法
8. 接続語連想法
9. ことわざ連想法
10. オノマトペ感覚法

第4章 発想のための基礎固め
1. 発想の基になる力
2. 発想するための姿勢
3. アイデアを出す環境づくり
4. 情報の収集と知識の獲得

第5章 アイデア創出の実行
1. 発想の下準備
2. コストの考慮
3. アイデアの出しあい方
4. 思いつきへの対応
5. 発想の範囲を広げる工夫

第6章 アイデアのまとめ方
1. 推論の型
2. 推論の進め方
3. ロジカルシンキング
4. KJ法で整理する
5. 概念を図示する
6. 文章にまとめる
7. アイデアを評価する

第7章 実務における対応<資料>
1. アイデアを実施に移す
2. アイデアから知的財産へ
3. トラブル防止のための対応

第8章 まとめと勉強の方法
1. アイデア創出から評価までの手順
2. 発想のための勉強法

付録資料
1 マンダラート例 100歳まで充実して生きるために
2 TRIZの40の発明原理と発想例
3 オズボーンのチェックリストと応用例
4 小波の追加リストと具体例
5 「単位洗い出し法」に用いるSI単位の次元と記号
6 「動詞連想法」に利用する動詞リスト
7 「形容詞連想法」に利用する形容詞リスト
8 「接続語連想法」に利用する接続語と連想例
9 「ことわざ連想法」に利用することわざと連想例
10 ブレインライティング・シート
11 採用された開発テーマの公的資金申請書（要約）例
12 発想に役立つ考え方
13 汎用的に利用される概念
14 ChatGPTを利用した発想

※詳細はHP参照

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法
・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法
受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込書 ・2025年5月23日（金）「開発者・技術者のための技術の発想と実現（実習付）」

会社名		〒		住所	
TEL				FAX	
正式所属				正式所属	
受講者名				受講者名	
E-mail				E-mail	
振り込み予定				通信欄	

●申込先 TH企画セミナーセンター
株式会社TH企画
〒108-0014 東京都港区芝4-5-11-5F
TEL：03-6435-1138
FAX：03-6435-3685
E-mail：th@thplan.com
検索 TH企画 → サイト内検索 0523（開催日）

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。
https://www.thplan.com/